

高校生のための 特別授業 探究の悩みを一緒に解決しませんか？①



日時

7月22・29日（土）、8月4日（金）14:30～17:30

高校生専用講座コード

2321G109

講座名

探究の悩みを一緒に解決しませんか？①

テーマや仮説を相談して講師や院生からアドバイスをもらおう！

受講料 高校生無料

定員 高校生20名

講座形式 オンライン

講座スケジュール

本講座は高校生の皆さんが探究学習で検討中のテーマや仮説について、講師や大学院生に相談する機会を提供するものです。学年や文理は問いませんし、個人でもグループでも結構です。探究活動で抱えている悩みを一緒に解決していきましょう！（本講座はテーマ・仮説相談を中心とする【初級編】です。別講座に構想発表を中心とする【中級編】があります。両方とも受講しても構いませんし、片方だけ受講しても構いません。）

●第1回 講師・大学院生によるガイダンス [7月22日（土）]

- ①講師による自己紹介／講座概要に関する説明（30分）
- ②受講者による自己紹介／探究相談の日程調整（30分）
- ③講師による探究講義／大学院生による研究紹介（90分）※途中休憩あり

第1回は初対面ですので、全員で自己紹介をしてからガイダンスに入ります。自己紹介の時に構想中のテーマについて簡単に紹介してもらいますので、ご準備下さい。次回以降の相談日程を決定した後で、講師と大学院生から探究講義と研究紹介を行います。

●第2～3回 受講者による探究相談・報告 [7月29日（土）・8月4日（金）]

- ①A班：個別ルームでの探究相談／B班：大学院生による研究紹介（50分）
- ②A班：大学院生による研究紹介／B班：個別ルームでの探究相談（50分）
- ③相談内容の全体報告／講師による講評（5分×最大10組）※途中休憩あり

第2～3回はA班とB班に分かれて、個別ルーム（Zoomブレイクアウト）での探究相談と大学院生による研究紹介を交互に実施します。探究相談が終了した後、全体ルームに集合して受講者から相談内容を簡単に報告してもらい、講師から全体講評をします。

●講師から受講者の皆さんへ

- ①本講座は、受講者がテーマや仮説の相談をすることを主要な目的としています。検討中でも構いませんので、相談したい点をメモにまとめておいて下さい。
- ②様々な角度から助言を行うため、講師だけでなく院生にも参加してもらいます。高校生の皆さんと年齢の近い先輩ですので、気軽に質問・相談して下さい。
- ③第1回は必ず参加して下さい。第2・3回のうち、自分が相談しない回は欠席しても結構です。受講をキャンセルする場合、7月12日（水）までに連絡して下さい。

※以下に探究に関する参考図書を挙げました。興味のある方は読んでみて下さい。



小笠原喜康・片岡則夫
『中高生からの論文入門』
（講談社現代新書2019年）



延原宏『SDGsに対応した
探究学習ワークブック』
（デザインエッグ社2021年）

お申込み方法 インターネットでお申込みください

お申込みは6月7日（水）9：00以降

- インターネット www.ou.tmu.ac.jp/web/
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口
（飯田橋キャンパス：平日9時～17時30分）
- 電話 03-3288-1050（飯田橋キャンパス）

- ・申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- ・申込みは受講者個人ごとに受け付けます。人数だけの複数申込みはできません。
- ・高校生は、在学高校名と学年を明記してください。

講師

いたくら たかのぶ
板倉 孝信
東京都立大学
大学教育センター
高大連携室 准教授

講師

かさい なほこ
河西 奈保子
東京都立大学
大学教育センター
高大連携室 室長
教授

講師

わたなべ つねお
渡辺 恒雄
東京都立大学
大学教育センター
高大連携室 副室長
特任教授

講師

しまだ けいぞう
嶋田 敬三
東京都立大学
大学教育センター
高大連携室
特任教授

講師

あさり みなと
浅利 みなと
東京都立大学
大学教育センター
高大連携室
特任助教



高校生のための 特別授業 探究の悩みを一緒に解決しませんか？②



日時 8月26日、9月2・9日（土）14:30～17:30

高校生専用講座コード 2321G110

講座名

探究の悩みを一緒に解決しませんか？②
探究構想を発表して講師や院生からアドバイスをもらおう！

受講料 高校生無料
定員 高校生10名
講座形式 オンライン

講座スケジュール

本講座は高校生の皆さんが取り組んでいる探究構想を発表し、講師や大学院生から意見を聞く機会を提供するものです。学年や文理は問いませんし、個人・グループどちらでも結構です。探究活動で抱えている悩みや課題を一緒に解決しましょう！（本講座は構想発表を中心とする【中級編】です。別講座にテーマ・仮説相談を中心とする【初級編】があります。両方とも受講しても構いませんし、片方だけ受講しても構いません。）

●第1回 講師・大学院生によるガイダンス【8月26日（土）】

- ①講師による自己紹介／講座概要に関する説明（30分）
- ②受講者による自己紹介／構想発表の日程調整（30分）
- ③講師による探究講義／大学院生による研究紹介（90分）※途中休憩あり

第1回は初対面ですので、全員で自己紹介をしてからガイダンスに入ります。自己紹介の時に探究テーマについて説明してもらいますので、ご準備下さい。次回以降の発表担当を決定した後で、講師と大学院生から探究講義と研究紹介を行います。

●第2～3回 受講者による探究構想の発表【9月2日・9日（土）】

- ①受講者による探究構想の発表（10～15分×最大5組）
- ②大学院生からのアドバイス（10～15分×最大5組）
- ③講師・受講者からのコメント（10～15分×最大5組）※途中休憩あり

第2～3回は受講者が交代で自分の探究構想を発表します（各回最大5組）。発表者はパワーポイントなどの資料をZoomの共有機能で示し、内容を説明します。発表後にまず大学院生からアドバイスを受け、講師・受講者からコメントを聞きます。

●講師から受講者の皆さんへ

- ①本講座は、受講者の皆さんが探究構想を発表することを主要な目的としています。途中経過でも構いませんので、発表時には簡単な資料の作成をお願いします。
- ②様々な角度から助言を行うため、講師だけでなく大学院生にも参加してもらいます。高校生の皆さんと年齢の近い先輩ですので、気軽に質問・相談して下さい。
- ③第1回は必ず参加して下さい。第2・3回のうち、自分が発表しない方は欠席しても結構です。受講をキャンセルする場合、8月16日（水）までに連絡をお願いします。

※以下に探究に関する参考図書を挙げました。興味のある方は読んでみて下さい。



小笠原喜康・片岡則夫
『中高生からの論文入門』
（講談社現代新書2019年）



延原宏『SDGsに対応した
探究学習ワークブック』
（デザインエッグ社2021年）

お申込み方法 インターネットでお申込みください

お申込みは6月7日（水）9：00以降

- インターネット www.ou.tmu.ac.jp/web/
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口
（飯田橋キャンパス：平日9時～17時30分）
- 電話 03-3288-1050（飯田橋キャンパス）

- ・申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- ・申込みは受講者個人ごとに受け付けます。人数だけの複数申込みはできません。
- ・高校生は、在学高校名と学年を明記してください。

講師

いたくら たかのぶ
板倉 孝信
東京都立大学
大学教育センター
高大連携室 准教授

講師

かさい なほこ
河西 奈保子
東京都立大学
大学教育センター
高大連携室 室長
教授

講師

わたなべ つねお
渡辺 恒雄
東京都立大学
大学教育センター
高大連携室 副室長
特任教授

講師

しまだ けいぞう
嶋田 敬三
東京都立大学
大学教育センター
高大連携室
特任教授

講師

あさり みなと
浅利 みなと
東京都立大学
大学教育センター
高大連携室
特任助教



高校生のための 大学授業体験シリーズ 異常気象と気候変動

高校生無料



日時 7月14日 (金) 18:30~20:00

高校生専用講座コード 2321G111

講座名 異常気象と気候変動

受講料 高校生無料

定員 高校生約20名

講座形式 オンライン

当講座は、東京都立大学の教員による高校生のための講座です。大学で研究・教育に携わる教員が、オンラインで講義します。文系・理系を問わず、ジャンルは多岐に渡りますので、興味ある講座を積極的に受講してみてください。

講座スケジュール

※アーカイブ配信（録画）も視聴できます。

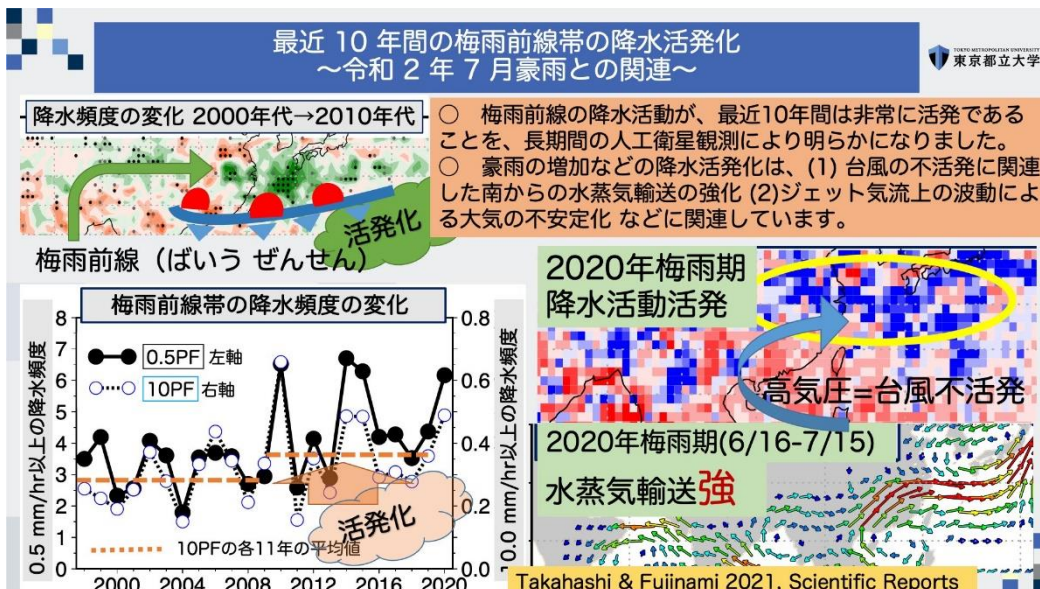
本講座では、地球温暖化を含めた気候変動と異常気象に焦点を当て、地球温暖化の基礎的な説明を行います。地球温暖化により豪雨の増加、猛暑の増加、台風の激化などが知られていますが、その科学的な根拠や、一部の誤解などについても講義します。また、新しい問題として、PM2.5などの大気汚染と地球温暖化の関わりについても少し扱いたいと思います。地球温暖化を説明する物理学的な基礎知識を理解していただければと思います。また、2021年に地球温暖化研究で真鍋淑郎さんがノーベル物理学賞を受賞しましたが、気候シミュレーションについても、いづらか触れられればと思います。

講師

たかはし ひろし
高橋 洋
東京都立大学
都市環境学部
助教

関連資料・リンクなど

- プレスリリース：最近 10 年間の梅雨前線帯の降水活発化 -令和 2 年 7 月豪雨との関連-
<https://www.tmu.ac.jp/news/topics/31108.html>
- プレスリリース：東京での雪の予報に寄与する新たな要素を発見！ ～日本周辺の海面水温が影響～ <https://www.tmu.ac.jp/news/topics/30325.html>
- 講師の研究に関連する twitter
➤ https://twitter.com/kikou_tmu



講師略歴

2006年 博士(理学) 名古屋大学 環境学研究所
2009年から東京都立大学に勤務

専門はアジアの気候変動などで、地球観測衛星データ及び数値シミュレーションなどを活用して研究しています。

高校生のための 大学授業体験シリーズ 身近な社会問題と刑事法入門

高校生無料



日時 8月5日 (土) 15:00~16:30

高校生専用講座コード 2321G112

講座名 **あおり運転と危険運転致死傷罪**

受講料 高校生無料
定員 高校生約20名
講座形式 オンライン

当講座は、東京都立大学の教員による高校生のための講座です。大学で研究・教育に携わる教員が、オンラインで講義します。文系・理系を問わず、ジャンルは多岐に渡りますので、興味ある講座を積極的に受講してみてください。

講座スケジュール

※アーカイブ配信（録画）も視聴できます。

日々、メディア等で報道されている刑事事件。そして、その中で「殺人罪」や「傷害罪」などの言葉を耳にする機会が多いことかと思えます。しかし、そのような法律の具体的な内容についてまでは知らない、という方もまた多いことでしょう。

本講座では、刑事事件が起こった際に適用される『刑事法』について解説をし、理解を深めていくことを目的としています。

特に、近年、社会問題として注目を浴び、法改正等も行われている「あおり運転と危険運転致死傷罪」を題材として講義を行っていきます。

道路上での危険な運転行為が「あおり運転」という名称として社会問題と認識されるようになったのは、実は近年になってからのことです。それまでは交通事故の事案に関してはたとえ危険な運転があったとしても、過失運転致死傷罪や業務上過失致傷罪などのそれほど重い刑が適用されない罪に問われるのみでした。

交通事故の事案で耳にすることも多くなってきた「危険運転致死傷罪」も2001年には刑法に新設されていましたが、同法が実際に適用されて、被告人に刑が課される事件はかなり少なかったといえます。

そのような中で2017年に起こった東名高速道路あおり運転事件を機に、あおり運転が特に社会問題として大きく注目を集めることとなり、2020年には危険運転致死傷罪等の法改正が行われました。また、東名高速道路あおり運転事件は異例となる差戻審が行われ、2022年に横浜地裁で再度判決が下されています。

本講座では、はじめにあおり運転に関する事件を紹介した上で、そのような事案についてこれまではどういった法が適用されてきたか、なぜ危険運転致死傷罪が適用されることが少なく、そして危険運転致死傷罪がどのような理由で改正に至り（改正自動車運転処罰法も含めて）、現在ではいかなる法律となっているのかについて、刑事法的観点から「あおり運転」に焦点を当てた解説を行っていきます。



講師
さとみ としあき
里見 聡瞭
東京都立大学
法学部
助教

お申込み方法 インターネットでお申込みください

お申込みは6月7日 (水) 9:00以降

- インターネット www.ou.tmu.ac.jp/web/
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口
(飯田橋キャンパス：平日9時~17時30分)
- 電話 03-3288-1050 (飯田橋キャンパス)

- ・申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- ・申込みは受講者個人ごとに受け付けます。人数だけの複数申込みはできません。
- ・高校生は、在学高校名と学年を明記してください。

講師略歴
東京都立大学大学院 博士課程後期課程。法学博士。
現在、東京都立大学法学部法政治学研究科 助教。

高校生のための 大学授業体験シリーズ なぜ理系で英語が必要なのか

高校生無料



日 時 8月26日(土) 15:00~16:30

高校生専用講座コード 2321G113

講座名 理系大学を満喫するための実践英語

受講料 高校生無料

定員 高校生約20名

講座形式 オンライン

当講座は、東京都立大学の教員による高校生のための講座です。大学で研究・教育に携わる教員が、オンラインで講義します。文系・理系を問わず、ジャンルは多岐に渡りますので、興味ある講座を積極的に受講してみてください。

講座スケジュール

※アーカイブ配信(録画)も視聴できます。

「理系にも英語は必要だ」と念仏のように聞かされてきたあなた！その理由を本当に理解していますか？この講座で体験する理系の実践英語は、受験対策ではありませんが、合格後の大学生活ではきっと役立つはずですよ。

現在の理系の学問体系は、過去の研究者たちの発見の積み重ねで成り立っています。これらの発見は、学術論文というカタチで、人類全体の共有の知的財産として、過去から未来に受け継がれてゆきます。このときに当然ながら共通言語が必要であり、現在の世界情勢では、それが英語であるというわけです。理系の分野で活躍するということは、論文という知的財産を読んで活用し、自らの発見を論文に書いて知的財産に付け加える、ということなのです。ノーベル賞や、そのパロディーであるイグノーベル賞を日本人が受賞したというニュースを聞いたことがあると思います。彼らもみな英語で論文を書いているのです。

教科書などは、学術論文という一次情報をもとにしてまとめあげた二次情報であるといえます。このような二次情報が日本語で提供されることは、日本における理系のすそ野を広げることにつながっています。しかし、理系の大学に進学して高みを目指す人たちには、英語の一次情報にふれるのに不自由しないだけの英語能力が必要なのです。

英語で会話をする必要にせまられることもあるかもしれませんが、あまりこわがることはありません。英語は共通言語であり、もはや英語を母語とする人たちだけのものではありません。英語を母語としない人と話す機会の方が多くても不思議ではありません。お互い様なので、聞き取れなかったら遠慮なく聞き返してよいのです。

この講座では、限られた時間ではありますが、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の四つの能力が理系でどのように活用されるのかを体験します。

「読む」：理系の英文を読んで、文の構造をしっかりとらえる練習をしてみましょう。

「書く」：理系の英語の例文を推敲してみましょう。

「聞く」：英語を母語としない人たちのための英語の科学技術ニュースを聞いてみましょう。

「話す」：日本人が苦手とする英語の発音を練習してみましょう。

今はまだ英語が多少苦手でもかまいません。なぜ理系で英語が必要なのかを理解し、今のうちから少しずつ苦手意識をなくしていきましょう。

お申込み方法 インターネットでお申込みください

お申込みは6月7日(水) 9:00以降

- インターネット www.ou.tmu.ac.jp/web/
- 東京都立大学オープンユニバーシティ窓口
(飯田橋キャンパス：平日9時~17時30分)
- 電話 03-3288-1050 (飯田橋キャンパス)

- 申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- 申込みは受講者個人ごとに受け付けます。人数だけの複数申込みはできません。
- 高校生は、在学高校名と学年を明記してください。



講師

よしだ まこと

吉田 真

東京都立大学
システムデザイン学部
助教

講師略歴

1999年、東京都立大学大学院理学研究科生物学専攻の博士課程を修了。千葉大学海洋バイオシステム研究センターを経て、現在は東京都立大学システムデザイン学部機械システム工学科助教。光合成の電子伝達系の生理学的解析、光合成微生物の間の窒素源をめぐる競争、光合成微生物の燃料電池への応用、虐待による乳幼児の傷害の生体力学的解析、二足または四足での歩行の生体力学的解析などの研究に従事してきた。理系のための英語教育に積極的にとりこんでいる。